

公表

## 事業所における自己評価総括表 &lt;放課後等デイサービス&gt;

○事業所名	古河市児童発達支援センター ぐるんば		
○保護者評価実施期間	令和6年9月27日		～ 令和6年11月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和6年9月27日		～ 令和6年11月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 16名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の満足度が高いこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別支援を充実させています。</li> <li>利用者それぞれのニーズに合わせて対応しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフの資質向上のため継続的な研修等を行います。</li> </ul>
2	環境や体制が整備されていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>十分な部屋の数や広さを確保しています。</li> <li>必要に応じて場所の調整が行えるようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部段差等があるため、バリアフリー化を促進します。</li> </ul>
3	保護者への説明等が適切に行われていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返しお子さんの評価や見立てを行っています。</li> <li>保護者の方と積極的にコミュニケーションをとっています</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員のスキルアップのため、教育や研修の機会をさらに充実させます。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所としては定期的に避難訓練などを行っていますが、現在の日程や頻度では全員が参加できる状態ではないと考えられます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SNS等を活用した積極的な情報発信を行う。</li> <li>利用者全員が年1回は避難訓練等ができるよう検討します。</li> </ul>
2	保護者間、きょうだい同士の交流の機会に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>ぐるんばカフェなど小規模での保護者交流会は実施していません。</li> <li>現在の利用者のきょうだい構成は、年齢等の要素が非常に異なっている状態です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ぐるんばカフェの充実を図ります。</li> <li>ぐるんばで実施できるきょうだい交流の形について検討します。</li> </ul>
3	他の施設や地域の子どもの交流の機会に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別対応の充実に重点を置いているため、相対的に交流機会に関する事業が発展が遅れています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域情勢や利用者のニーズを定期的に調査検討し、事業所として果たすべき役割について見直しを継続します。</li> </ul>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果&lt;放課後等デイサービス&gt;

事業所名 古河市児童発達支援センター ぐるんぱ

公表日 令和7年3月14日

利用児童数 22人

回収数 12人

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	0	1	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	12	0	0	0		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	0	0	3		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	0	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	6	2	個別の訓練なので、関わりはありません	センターの放課後等デイサービスは個別療育を中心に実施しています。お子様の状態によっては、同時間・同室での療育を提供する場合があります。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	0	0	2		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	0	1	6		・ぐるんぱカフェなど保護者同士の交流の場を提供しています。きょうだい児についてはニーズを確認して対応を検討していきます。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	19	12	0	0	0		
	20	12	0	0	0		
	21	11	0	0	1		
	22	10	0	0	2		
非常時等の対応	23	10	0	0	2		
	24	8	0	1	3		
	25	11	1	0	0		
	26	8	0	0	4		
満足度	27	12	0	0	0		
	28	12	0	0	0		
	29	12	0	0	0		

公表

## 事業所における自己評価結果 &lt;放課後等デイサービス&gt;

事業所名		古河市児童発達支援センター ぐるんば		公表日		令和7年 3月 14日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・十分な対応ができるよう部屋の数を確保しています。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		6	0		・利用者のニーズに合ったスタッフが確保できるように、調整等が必要と感じられます。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		4	2		・一部バリアフリー化が行き届いていないところもあります。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		6	0	・利用後は消毒や清掃をしています。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		6	0	・必ず希望通りに対応できるとは限りませんが、調整などはできる限り行っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	・業務を実施し、振り返りを通じて改善項目を見つけていると思います。また、事業所評価でも対応を検討しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・職員会議で意見を言いやすい雰囲気をつくるなど、環境づくりをしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		・来年度以降、導入できるよう準備を進めています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・外部研修に参加できるよう予算を確保したり、内部研修で外部講師による研修の場を保証しています。	・放デイに特化した研修の機会が少ないため、幅広く研修情報を集めて参加できるように努めます。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	・今回、ホームページにセンターの支援プログラムを公表しました。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・お子さんの状態を毎回確認し、家庭の様子も保護者からお伺いしながら評価を行っています。アセスメント結果について計画に反映しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・個別療育なので主に担当者が計画立案しますが、必要に応じて他の職員に相談しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・支援会議で共有しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2		・個別療育のため、担当者が行っています。担当者が孤立しないよう相談体制を整えています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・提供する手技は同じでも、お子さんの状態に合わせて変更しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	・現状では個別対応が中心ですが、ご希望があれば活動計画に反映していきます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2		・個別療育のため、支援前の確認は担当者が主に行います。必要に応じて相談できる体制を整えています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2		・個別療育のため、担当者が振り返りを行います。必要時に多職種で検討できる体制を整えています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・記録は全て作成しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	2		・個別療育を重点的に行っているためすべて満たすことは難しいですが、できるだけ幅広く活動できるよう支援を検討しています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・お子さんによっては難しい場合もあります。意思表示できる場合は一緒に活動を考えています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・設問内容での情報共有はありませんが、必要時に保護者を通じて学校との連絡調整を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	・必要に応じて随時連携しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	・当事業所が児童発達支援センターのためスーパーバイズを受ける体制ではありませんが、個別に研修を受け、その中でスーパーバイズを受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	・放デイスタッフに限定せず、事業所メンバーが参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	・保護者が希望すれば、今年からペアレントプログラムを受けることができます。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	2	・ぐるんぱカフェなど保護者同士交流できる場は提供しています。	・きょうだい同士の交流機会が提供可能かどうか今後検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・定期的にくるんぱだよりを発行しています。 ・今年度からLINEを導入しました。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・食事やおやつなど飲食の提供がないため医師からの指示書はもらっていません。しかしながらアレルギー調査を行い事故防止に努めています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			